

令和 5年 6月 理事会報告

広報-HP,生涯教育,食育推進,在宅医療-介護,スポーツ栄養・JDA-DAT 委員会

日時	5月 27日(土) 時間:17:00~18:00	場所	ウインクあいち
出席者	大島拓土(委員長、医療)、杉浦美香(公衆)、加藤美穂(広報部、勤労) 内林英子(広報部、福祉)、畠山桂吾(部長、医療)、平田芳浩(オブザーバー、研教)、佐藤悦子(会報誌編集サポートメンバー、公衆)、嶋田恵(事務局) 天野薫(事務局) 欠席:後藤千穂(研教)、甲村優実(学校)、榊原未来(地活)		
協議事項 及び 決定事項	<p>①会報誌スケジュール 7月末〆切、最終8月末とする(昨年度は8月末〆切、最終9月末) 5月構成固め、6月に依頼、その後、編集、校正、校了、11月入稿、12月発送予定。</p> <p>②各ページの原案作り ・表紙・裏表紙:特集に合わせた写真 公益法人化10周年記念誌(オンライン公開)を12月会報誌配布に合わせてホームページにて公開予定。裏表紙に記念誌へのアクセス用QRコードや誘導する文章を追加していく。 ・特集テーマ(2ページ): 栄養ケア・ステーションの予定をしていたが、現状の本会への依頼状況等を考えると特集テーマとしては難しい。 今回の特集テーマは「子どもと栄養」に決定。4月にこども家庭庁が発足し、県栄の本年度事業計画としてもエビデンスの情報収集をしていく方針が示されている。各部会から取り組みの情報を集めるとしたら、大体下記のような感じになりそうである。 医療:アレルギー・負荷試験、小児がんなど? 福祉:児童福祉? 研教:その領域の研究? 公衆:離乳食? 母子保健 学校:栄養教諭 地活:子ども食堂? 勤労:難しそう...託児所がある企業? 働く母親のサポート?</p> <p>依頼フォームを作成(担当:大島)後、各部会へ依頼していく(全員)</p> <p>別特集テーマ案 令和4(2022)年度愛知県生活習慣関連調査の結果を元に、愛知県の健康課題に対して各職域でアプローチできることや取り組みなどをまとめる(例.野菜を主材料とした料理をほとんど毎日食べる方の頻度が少ないため、改めて「愛知県民の野菜摂取を増やそう!」をテーマに)。 参考:https://www.pref.aichi.jp/press-release/r4seikatsushuukannkannrenntyousa.html 昨年度「各職域での人材育成の実際」のシンポジウムを行ったため、OJT、OFF-JT、研修制度、求められる力、コンピテンシーなどについて各職域でまとめる 参考:https://aichiken-eiyoushikai.or.jp/kaiin/2023-3-23kenshu_siryou/ 他にも、アレルギー、衛生管理、教育媒体など。</p> <p>・MFD(2ページ):「5年、10年後どうなっていますか?」をテーマに各部会へ依頼(全員) 協力者への謝礼(QUOカード等)の可否確認を事務局にし、現状を踏まえて断念する ・部会紹介(1ページ):昨年度分の医療部会の認定・専門資格の原稿あり。必要に応じて他部会に関連する資格も盛り込む(担当:大島) また医療機能情報提供制度における医療従事者の人員配置の報告職種に管理栄養士・栄養士を追加された旨を入れていく。https://www.dietitian.or.jp/trends/2023/287.html ・栄養ケアプロセスって何?(2ページ):かみ砕いて説明、事例紹介も(担当:畠山、内林)。 ・JDA-DAT委員会(2ページ):活動報告や育成の様子(向井委員長より提案。担当:大島) ・理事紹介(1ページ):総会時に集合写真撮影済み。7部会からのメッセージをいただく(次回理事会依頼:担当畠山)。 ・Information(担当:平田、事務局) ・4年目となるため、会員へ会報誌へのご意見をアンケート</p>		
理事会での検討事項			
今後の検討事項			
委員会の課題			